docomo NEXT series

GALAXY NEXUS
SC-04D

クイックスタートガイド

詳しい操作説明などは、下記URLをご覧ください。
http://www.google.com/nexus

はじめに

「SC-04D」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- SC-04Dは、W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM ／ GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

取扱説明書について

■ **「クイックスタートガイド」(本書)**

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明します。「クイックスタートガイド」の最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

SC-04Dの詳しい操作説明などは、以下のホームページをご覧ください。

http://www.google.com/nexus

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です。

（例）ディスプレイのホーム画面から、（アプリアイコン）、（検索アイコン）を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で「アプリ」→「検索」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-04D」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

本体付属品／試供品

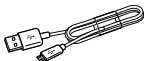
■ 本体付属品

SC-04D
（リアカバー SC05、
保証書含む）

クイックスタートガイド
（本書）

電池パックSC05

ACアダプタSC03
（保証書含む）

USB接続ケーブル SC02

■ 試供品

マイク付ステレオヘッド
セット

その他オプション品について → P.40

目次

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で「アプリ」→「設定」→「端末情報」→「端末の状態」をタップします。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生など）は消音されません。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスやfacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。

- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングの初期設定では、外部機器と携帯電話間のセキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ **危険**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、電池パック、アダプタ（USB接続ケーブル含む）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタ（USB接続ケーブル含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

指示

充電しながらゲームなどを長時間行うと、本端末や電池パック、アダプタ（USB接続ケーブル含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモUIMカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について → P.18「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり、充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタ（USB接続ケーブル含む）の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタ（USB接続ケーブル含む）のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ（USB接続ケーブル含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ（USB接続ケーブル含む）のコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（USB接続ケーブル含む）のコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
AC100V〜240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ（USB接続ケーブル含む）のコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本端末を持ち込まないでください。

- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7. 材質一覧

使用箇所		使用材質	表面処理
ディスプレイパネル		ガラス	-
外装ケース（周囲）	裏面	PC+GF20	UVコーティング
サイドキー（音量キー、電源キー）		PC	UVコーティング
リアカバー		PC+GF10%	SFコーティング
カメラレンズパネル		アクリル樹脂	－
カメラレンズ周囲部分		アルミニウム	黒アルマイト
RCV飾り部分		ステンレス鋼	印刷
電池パック	端子部分	銅合金	ニッケル下地メッキ／金メッキ
	本体	PC樹脂	－
	ラベル	PET	－

8. 試供品（マイク付ステレオヘッドセット）の取り扱いについて

⚠ 危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などを運転中にマイク付ステレオヘッドセットを使用しないでください。
事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付ステレオヘッドセットの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。
事故の原因となります。

⚠ 注意

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

マイク付ステレオヘッドセットのコードを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故、故障、破損の原因となります。

禁止

マイク付ステレオヘッドセットを使用するときは、音量に気を付けてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
本端末、電池パック、アダプタ（USB接続ケーブル含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
ディスプレイが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度(5℃〜35℃)の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
- 電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ(USB接続ケーブル含む)についてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度(5℃〜35℃)の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタ(USB接続ケーブル含む)が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

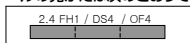
■ **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 FH1 / DS4 / OF4

2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
（帯域表示バー）	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯の使用チャンネルについて

本端末は、5GHzの周波数帯において、W52のチャンネルを使用できます。

- W52は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

試供品(マイク付ステレオヘッドセット)についてのお願い

● **水をかけないでください。**

マイク付ステレオヘッドセットは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

● **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

● **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

● **本端末からマイク付ステレオヘッドセットを取り外すときは、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。**
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〶 」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

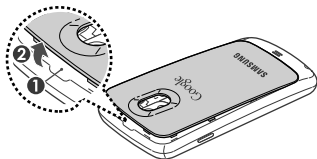
■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

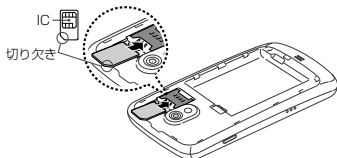
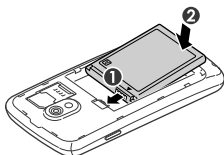
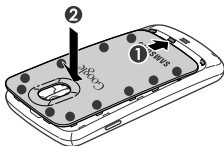
ご使用前の準備

ドコモUIM カード／電池パックの取り付けかた

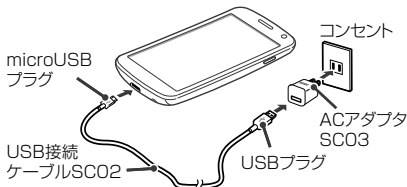
FOMA カード（青色）をお使いの場合、海外で本端末を利用することはできません。FOMA カード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

1 電源が入っていた場合、電源キーを 1 秒以上押して「電源を切る」→「OK」を選択し、電源を切る

2 リアカバーの① の部分に指をかけて、② の方向へ持ち上げ、リアカバーを取り外す

リアカバーを取り外す際、お客様の爪が傷つかないように気をつけてください。

3 ドコモUIM カードのIC面を下にして、カードスロットの奥まで差し込む

4 電池パックの A マークを上にして、電池パックの凹みを本端末の凸部分に確実に合わせ、① の方向へ押し付けながら、② の方向へ押し込む

5 リアカバーのツメを本端末のミゾに差し込み、①の方向に取り付け、②の方向にしっかりと押し、● 部分をしっかりと押して取り付ける

充電する

本端末をご使用される前に、充電を行ってください。

電池パックが放電している場合、アダプタが接続された状態であっても、本端末の電源が入らない可能性があります。本端末の電源を入れる前に、数分間充電してください。

1 **USB接続ケーブルSC02のUSBプラグを、の印刷面を上にしてACアダプタへ図の向きに水平に差し込む**

2 **本端末の外部接続端子に、USB接続ケーブルSC02のmicroUSBプラグのの印刷面を上にして差し込む**

アダプタを正しく接続しないと、本端末の破損の原因となります。

3 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

本端末の充電中は電源供給が安定しないため、ディスプレイ（タッチスクリーン）が機能しない場合があります。
このような場合は、本端末からアダプタを抜いてください。

4 **電池パックが完全に充電されたら、まず本端末からmicroUSBプラグを引き抜き、そのあとACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

充電中に電池パックを外さないでください。

電池を長持ちさせるために、充電をしていない場合はmicroUSBプラグを本端末から抜いてください。

USB接続ケーブルを利用して充電する

付属のUSB接続ケーブル SC02を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

ご使用前の確認と設定

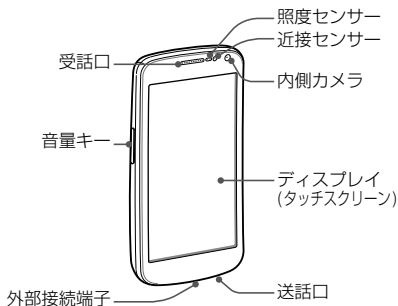
電源を入れる／切る

電源キーを1 秒以上押して、電源を入れます。

初めて電源を入れた場合は、画面の指示に従って初期設定を行います。

電源を切る場合は、電源キーを1 秒以上押して、**「電源を切る」**→**「OK」**を押してください。

ネットワークサービスを利用せずに本端末をご使用の場合は、機内モードに切り替えてください。

本端末の各部名称を確認する

※1. ハンズフリー機能やビデオ録画機能を使用する場合のみ、有効になります。

※2. アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手や物で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ロック／セキュリティ

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード(PUK)は、「●」で表示されます。

■ **各種暗証番号に関するご注意**

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や本端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロック用PIN ／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
※「My docomo」については、P.63をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
  PINロック解除コード（8桁）を入力 →「OK」→ 新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度PINコードを入力 →「OK」をタップします。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
- 日本国内ではPINコード入力画面/PINロック解除コード入力画面で「緊急通報」をタップしても110番/119番/118番に発信できません。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロック設定」→「SIMカードをロック」→ PINコードを入力 →「OK」

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力しなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「設定」→「セキュリティ」→「画面のロック」

2 「スライド」／「顔認証ロック解除」※1 /「パターン」／「PIN」／「パスワード」→ 画面の指示に従って入力する

「PIN」は４つ以上の数字、「パスワード」はアルファベットを含む４つ以上の文字で設定してください。

※１「顔認証ロック解除」は、SIMカードを取り付けている際に表示されます。

お知らせ

- 画面ロック設定をオフにするには、ホーム画面で「アプリ」→「設定」→「セキュリティ」→「画面のロック」→スライド/顔認証ロック解除[*1]/パターン/PIN/パスワードを入力→「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「パターンを忘れた場合」をタップして、本端末に設定したGoogleアカウントにサインインすると、新しい解除パターンを作成できます。Googleアカウントを設定していない場合、またはPINやパスワードを忘れた場合は、スクリーンロックの解除ができませんのでご注意ください。

本端末を初期化する

本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。

1 ホーム画面で「アプリ」→「設定」→「バックアップとリセット」→「データの初期化」→「携帯端末をリセット」→「すべて消去」

付録

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック SC05
- リアカバー SC05
- 卓上ホルダ SC05
- AC アダプタ SC03
- USB接続ケーブル SC02
- HDMI変換ケーブル SC01
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01
- FOMA ACアダプタ 01 ※1/02 ※1、※2
- FOMA DCアダプタ 01 ※1/02 ※1
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01 ※1、※2
- 車載ハンズフリーキット 01 ※3
- FOMA乾電池アダプタ 01 ※1
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- 骨伝導レシーバマイク 02 ※3
- FOMA 補助充電アダプタ 02 ※1
- ポケットチャージャー 01

※1 本端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※3 本端末とBluetooth通信で接続できます。

試供品（マイク付ステレオヘッドセット）

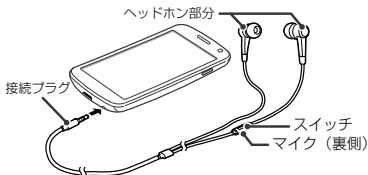
・ 試供品は無料修理保証の対象外です。

ご使用方法

マイク付ステレオヘッドセット

■ ご使用方法

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

- 使い終わったら、取り付けかたと逆の手順で取り外します。

■ 主な仕様

コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW(1.13V)
音圧	111 ± 3dB
サイズ	長さ 約1260mm
質量	約11.1g(本体のみ)

• 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ **以下の場合は、修理できないことがあります。**
- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例:水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露･汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損･変形していた場合（外部接続端子･ヘッドホン接続端子･ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ **保証期間が過ぎたときは**

ご要望により有料修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

  次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やキーにシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

  改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障･修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、受話口、カメラ、バイブレータ部分（バッ クキー付近）、ヘッドホン接続端子付近
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種［SC-04D］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.386W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常ＳＡＲはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属部分が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
SAMSUNGのホームページ
http://www.samsung.com/jp/support/sar.html
※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ **Information to User**

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.49 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.65 W/kg.

Body-worn operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSWDSC04D.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.294 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.274 W/kg. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

We, **Samsung Electronics**
declare under our sole responsibility that the product
GSM WCDMA BT/Wi-Fi Mobile Phone:
SC-04D
to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

SAFETY	EN 60950-1 : 2006 +A1 : 2010
SAR	EN 50360 : 2001 / AC 2006 EN 62209-1 : 2006 EN 62479 : 2010
EMC	EN 301 489-01 V1.8.1 (04-2008) EN 301 489-03 V1.4.1 (08-2002) EN 301 489-07 V1.3.1 (11-2005) EN 301 489-17 V2.1.1 (05-2009) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)
RADIO	EN 301 511 V9 0.2 (03-2003) EN 301 908-1 V4 2.1 (03-2010) EN 301 908-2 V4 2.1 (03-2010) EN 300 440-1 V1 6.1 (08-2010) EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010) EN 300 291-1 V1.1.1 (2005-07) EN 300 291-2 V1.1.1 (2005-07) EN 300 328 V1.7.1 (10-2006) EN 301 893 V1.5.1 (12-2008)

We hereby declare that [all essential radio test suites have been carried out and that] the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex [Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Forsyth House, Churchfield Road,
Walton-on-Thames, Surrey, KT12 2TD, UK*
Identification mark: 0168

The technical documentation kept at :

Samsung Electronics QA Lab.

CE0168 ⓘ

which will be made available upon request.
(Representative in the EU)

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park, Saxony Way,
Yateley, Hampshire, GU46 6GG, UK*

2011.11.08
(place and date of issue)

Joong-Hoon Choi/Lab Manager

(name and signature of authorised person)

* It is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「mopera」「mopera U」「公共モード」「spモード」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- SAMSUNGおよびSAMSUNGロゴは、Samsung Electronicsの登録商標です。
- 「Android」ロゴ、「Google Search」、「Google Maps」、「Google Mail」、「YouTube」、「Android マーケット」、「Google Talk」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- SRS CS Headphone、SRS WOW HD は、SRS Labs, Incの商標です。
CS Headphone およびWOW HD technologiesは、SRS Labs, Incのもと法人化されています。
- Bluetooth®は、Bluetooth SIG.Inc.の登録商標です。
- Oracle、Javaは、Oracleおよび関連会社の登録商標です。そのほかの名称は、各自所有者の登録商標です。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※ 「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は必ず公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF)

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に通話を終了します。

■ バイブ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード

操作音、着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*（無料）**

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-04Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*（無料）**

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-04Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00〜午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■サムスンテレコムジャパン株式会社

072-830-6075

受付時間 午前9:00〜午後5:00（土曜日・日曜日・年末・年始・祝祭日を除く）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.
'11.1（2.1版）
Code No.:GH68-36048A (Rev.1.2)